



# 伊藤まさひろ県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

## 印旛沼 恵みの沼

# 水質浄化へ第6期計画

### 9月県議会一般質問 佐倉市特集

文化と歴史の街、佐倉市選出の伊藤昌弘議員(2期)は、緑に包まれたふるさとをたたくまいを後世に残そうと、積極的に自然保護活動に取り組んでいます。9月県議会の一一般質問でも恵みの沼、印旛沼の浄化対策について県の取り組みを聞き取りました。また災害に強いまちづくりの一環として、東日本大震災でのライフライン破壊を教訓に、燃料確保のためにLPガスの活用を提案しました。伊藤議員の一一般質問の質疑を特集します。



県議会一般質問で県の施策を質す伊藤昌弘県議

しかしながら、今日の印旛沼は都市化や経済社会活動などの影響に伴い、水質汚濁が進行して環境基準を大幅に上回り、水道水源としては全国ワースト2位になっている。印旛沼は、地域の環境と我々の生活を写す鏡で、一日も早い浄化を目指す必要がある。

伊藤議員 昭和27年に手賀沼とともに県立印旛手賀自然公園に指定された風光明媚な湖沼である印旛沼は上水道、工業用水、農業用水の水源として、さらに内水面漁場として利用され、地元佐倉市をはじめ、多くの県民にとって、かけがいのない恵みの沼であり、貴重な財産だ。

そこで、印旛沼の水質浄化に向けて、平成27年度を目標年度とする「第6期湖沼水質保全計画」について、現在、策定作業を進めているところだ。

この計画を実効性あるものとするためには、科学的な評価と関係者の連携した取り組みが重要だ。このため、各種対策の効

果を高い精度で予測・評価するとともに、住民、流域自治体、学識経験者などの意見を聴きながら、地域と行政が一体となって、着実に水質浄化が図れる計画を策定してまいります。

## 印旛沼水の放射能検査

### 実施を強く要望

伊藤議員 印旛沼における放射能の状況はどうか。環境生活部長 印旛沼の水を利用した水道水では、放射性ヨウ素は4月16日以降、放射性セシウムは3月28日以降検出されおいており、安全性が確認されています。

また、印旛沼の主要魚種であるカワエビ類など2種類の水産物の検査を行った結果、放射性ヨウ素は検出されておりません。放射性セシウムは暫定規制値を大きく下回っており、安全性が確認されている状況です。

伊藤議員 印旛沼の放射能の測定について、もう一度、検査の実施について県の考えを伺います。

環境生活部長 印旛沼における放射能については、議員の御指摘のとおり、県民の健康や安全の確保にとって、重要です。そうした

県では、この新しい計画と、平成22年1月に策定した長期計画である「印旛沼流域水循環健全化計画」を両輪として、県民一丸となって印旛沼の水質浄化に取り組んでまいります。

### 伊藤まさひろ・PROFILE

- 略 歴 ■
- 昭和30年 佐倉市に生まれる
  - 昭和53年 日本大学法学部卒業
  - 平成7年 佐倉市議会議員に当選(2期を務める)
  - 平成19年 千葉県議会議員当選
  - 平成23年 千葉県議会議員再選
- 現 職 ■
- 千葉県議会 商工労働企業常任委員会副委員長
  - 日大習志野高校同窓会 会長
  - 佐倉リトルシニア野球協会 会長
  - 佐倉市表町防犯防災協会 会長

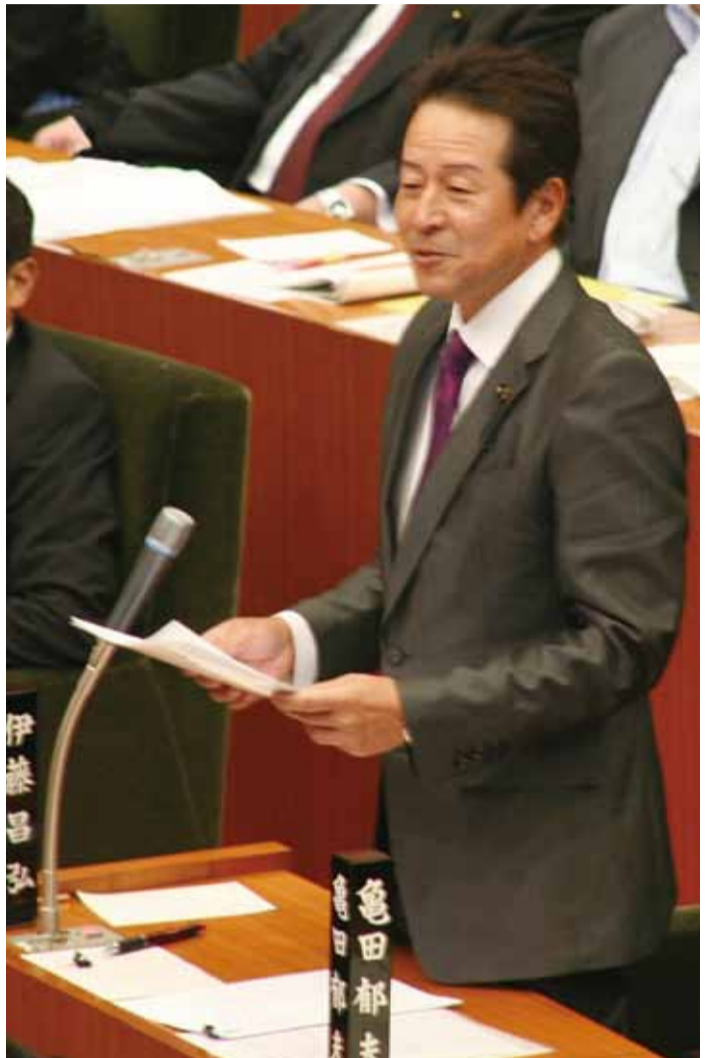
●まちづくりに関する悩みごと、気軽にご相談下さい!!

## 伊藤まさひろ 県議事務所

〒285-0811 佐倉市表町3-6-28  
TEL.043-485-8019  
FAX.043-486-1616



# 大災害に備えLPガス設備を



県議会議場の自席で再質問する伊藤昌弘県議

## ライフライン途絶に対処

温かい  
食  
提  
供

伊藤議員 東日本大震災ではライフラインが破壊され、都市機能が完全に麻痺した。近い将来、わが県においても大地震が想定されるなか、都市部での被災者の集中や、孤立化した地域などではエネルギーの十分な調達、供給を行うことができない状況が予想される。

伊藤議員 今回の大震災などでの公共施設は避難場所として何カ所指定をされているのか。その施設のうちLPガス施設が設置されているのは何カ所あるのか。

伊藤議員 今回の大震災のエネルギー供給途絶状況などの教訓を踏まえ、さらに、災害時の迅速な生活対応に備え、学校などの公共施設に避難所も含めLPガス設備の新設や増設の考えがあるのか。

伊藤議員 市町村は、調理設備のエネルギー源として主にLPガス源として主に何を備蓄しているのか、もしは、調達できる体制を整備しているのか。

伊藤議員 県内市町村と連携して、さまざまな災害に対応出来る体制を作るといのが、県の立場だと私は思います。

伊藤議員 県内市町村と連携をして、是非、私の今回の質問の内容をご検討いただき、そして、各市町村と連携をして、災害に強い千葉県づくりを、県で作っていただきますよう強く要望します。

伊藤議員 県内市町村と連携をして、是非、私の今回の質問の内容をご検討いただき、そして、各市町村と連携をして、災害に強い千葉県づくりを、県で作っていただきますよう強く要望します。

伊藤議員 県内市町村と連携をして、是非、私の今回の質問の内容をご検討いただき、そして、各市町村と連携をして、災害に強い千葉県づくりを、県で作っていただきますよう強く要望します。

## 県道佐倉印西線田町バイパス

### 現道拡幅を優先工事

伊藤議員 県道佐倉印西線田町バイパスの進捗状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 県道佐倉印西線田町バイパスにつきましては、佐倉市街の慢性的な交通混雑の緩和を図るため、佐倉市田町地先の国道296号から岩名運動公園に至る1.5キロメートル区間の整備を行っているところで

このうち、整備効果を早期に発現するため、現道拡幅部分の0.5キロメートルを優先的に進めているところであり、この優先区間の平成22年度末の進捗率は、事業費ベースで約31%、用地については、面積ベースで約90%となっております。

田町バイパスについても、

今後とも地元関係者の協力を得ながら、残る用地取得を積極的に進め、事業の推進に努めてまいります。

伊藤議員 都市計画道路馬渡秋山線の佐倉市大篠塚地先から国道51号までの延長約1100メートルの区間について、県事業として取り組むよう強く要望する。

伊藤議員 高崎川河川改修の進捗状況と今後の予定

伊藤議員 高崎川河川改修の進捗状況と今後の予定

伊藤議員 高崎川河川改修の進捗状況と今後の予定

## 要望

町内の備蓄体制がどうであるのかということ把握して、その体制で、本当に災害に強い千葉県づくりが出来るかどうかというものを県が考え、そして市町村と連携して、さまざま

## 井野土地画整理地内今年度内に供用へ

伊藤議員 国道296号八千代バイパスの整備状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 国道296号八千代バイパスにつきましては、慢性的な交通混雑の緩和を図るため、佐倉市上座地先から八千代市米本地先に至る5.2キロメートルの整備を進め、このうち、国道16号付近の0.7キロメートルについて供用しております。

## 国道296号八千代バイパス

伊藤議員 平成14年から取り組んでいる「ちばエコ農業」推進について進捗状況はどうか。また、今後どのように取り組んでいくのか。

知事 県では、環境への負荷を軽減し持続可能な農業を目指して「ちばエコ農業」を推進しており、現在、取組状況は栽培農家数で6063戸、栽培面積で4622ヘクタールとなっております。

伊藤議員 平成14年から取り組んでいる「ちばエコ農業」推進について進捗状況はどうか。また、今後どのように取り組んでいくのか。

知事 県では、環境への負荷を軽減し持続可能な農業を目指して「ちばエコ農業」を推進しており、現在、取組状況は栽培農家数で6063戸、栽培面積で4622ヘクタールとなっております。

9月県議会一般質問 佐倉市特集

ふるさと佐倉のために

伊藤まさひろ

県議

今後とも地元関係者の協力を得ながら、残る用地取得を積極的に進め、事業の推進に努めてまいります。

伊藤議員 高崎川河川改修の進捗状況と今後の予定